高崎市
認知症地域支援推進員たより 第3号

本人の声を聴く時代から、本人が語る時代へ。
さらに、その先には、本人がその人らしく活動する時代へ。

認知症の人がその人らしく活動する時代に向けて、日本認知症本人ワーキンググループでは、**「認知症とともに生きる希望宣言」**を2018年に発表しました。
認知症とともに暮らす本人一人ひとりが、 体験と思いを言葉にし、それらを寄せ合い、重ね合わせる中で、生まれたものです。「認知症になったらおしまい」では決してなく、「よりよく生きていける可能性を私たちは無数に持っています」と発信しています。

高崎市では、認知症の本人が集い、本人同士が主になって、自らの体験や希望、必要としていることを語り合う場所である、**『本人ミーティング』**の開催を目指しています。
関心のある方は、裏面あんしんセンターまでお問い合わせください✿

「認知症ってなぁに」をテーマに展示会を開催！

小さい時から、認知症を身近な病気と感じてもらい、他人事ではないと正しく理解が出来ることで認知症に対する偏見をなくすことを趣旨とし、高崎市立中央図書館で認知症関連の本の貸し出し、参考資料やチラシなどの認知症コーナーを設置しました。

＜第１回＞　令和元年８月１日～８月27日

小学生にも分かりやすいパネルと紙芝居のケース展示

＜第２回＞　令和２年８月１日～８月25日

夏休み期間で親子向け中心にパネルと認知症の絵本・児童書をケース展示

裏面もあります

もの忘れ？　気になったら早めの相談が安心です♪

認知症は早めに対応することによって、症状の進行を遅らせることができる場合があります。もの忘れが気になるときは、**「かかりつけ医」**や**「もの忘れ相談医」**に早めに相談することも大切です。

「どこの医療機関に行けばよいのかわからない」というときは、高齢者あんしんセンターにご相談ください。
「もの忘れ相談医」については、高崎市のホームページからもご覧いただけます。

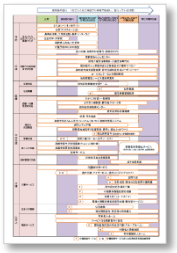
高崎市の認知症相談・物忘れ相談医
（高崎市のホームページ）

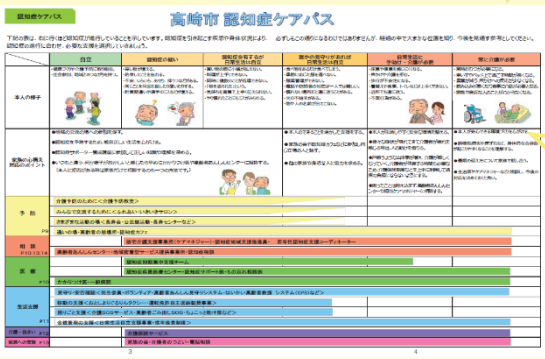
実際に支援を受ける時には、『認知症ケアパス』が有効です✻

『認知症ケアパス』とは、認知症の人の状態に応じた適切なサービス提供の流れを一般的な目安としてまとめたものです。

新『認知症ケアパス(2021 年度版)』がついに完成

「字が小さい」「見づらい」などの声を受け、使いやすさを考えて見直しました！





NEW

A3 版に大きくして、イラストも入って見やすくなっています♪

「本人の様子」や「家族の心構え・対応のポイント」などを追加し、状況に応じた対応の流れが分かりやすくなっています☆

『認知症ケアパス』は、高齢者あんしんセンター等に置いてある、**『オレンジガイドブック』**の中に掲載されています。
ぜひお問い合わせください✿